

図書館員のひみつの本棚 第 204 回

今月は、とっても身近なものについての絵本をご紹介します。

『このかみなあに? : トイレットペーパーのはなし』

谷内 つねお/さく 福音館書店 2020年 ¥1500(税別)

<お勧め年齢>

乳幼児★★☆ 小低学年★★★ 小中学年★☆☆ 小高学年★☆☆ 中学生★☆☆

高校☆☆☆ 一般☆☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

誰でも毎日必ず使うトイレットペーパー。そんなトイレットペーパーの特徴を、簡単な言葉と写真で表現した絵本です。「のびる」特徴では、子ども達が校庭でトイレットペーパーを伸ばしている写真があったり、「水を吸う」特徴では、色水を吸わせた写真があったり、パッと見てわかりやすく、子どもの興味を引く絵本です。

<子どもに手渡す時のポイント>

とにかく身近にあるものなので、子ども達の興味は引きやすい絵本です。文章が非常に短く、短時間で読み聞かせることができますが、写真のインパクトは大きく、印象に残ります。

中学年以上になると、自分で読むには簡単すぎるかもしれませんが、SDGsへの導入として使うことができそうな本です。巻末には「トイレットペーパーのひみつ」として、Q&A形式で詳細な解説もついており、トイレットペーパーの原料から古紙やリサイクルの話題、サイズからJIS規格の話題、と広がっています。他にも、国による習慣の違い、需要と供給の話など、工夫すれば様々な話題につなげていくことができると思います。

(解説の終わりに、「撮影に使用したトイレットペーパーは、使えるところは極力再利用しました」という一文も入っています)



このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみてください。